

一括請求 Assist<sup>®</sup> Ver.2

操作マニュアル

# 連携編(FX シリーズ)

第 2.6 版

---

## 目次

はじめに.....	2
1 連携の概要.....	3
1.1 連携の概要.....	3
1.2 連携の流れ.....	4
2 連携事前設定.....	5
2.1 「FX シリーズ」の事前設定.....	5
2.1.1 勘定科目を確認する.....	5
2.1.2 補助コードを確認する.....	8
2.1.3 取引先情報を確認する.....	11
2.1.4 関与先コードを確認する.....	13
2.1.5 データ作成システム区分を確認する.....	15
2.2 本ソフトの事前設定.....	19
2.2.1 通知確認設定情報を設定する.....	19
2.2.2 取引先を設定する.....	20
2.2.3 出力 CSV 設定を設定する.....	22
2.2.4 固定値を設定する.....	23
3 連携手順.....	39
3.1 連携手順.....	39
3.1.1 通知ファイルを読み込む.....	39
3.1.2 通知情報を確認する.....	43
3.1.3 仕訳伝票を作成する(FX2 の場合).....	45
3.1.4 仕訳伝票を作成する(FX4 クラウドの場合).....	49
3.1.5 仕訳伝票を確認する.....	53

---

## はじめに

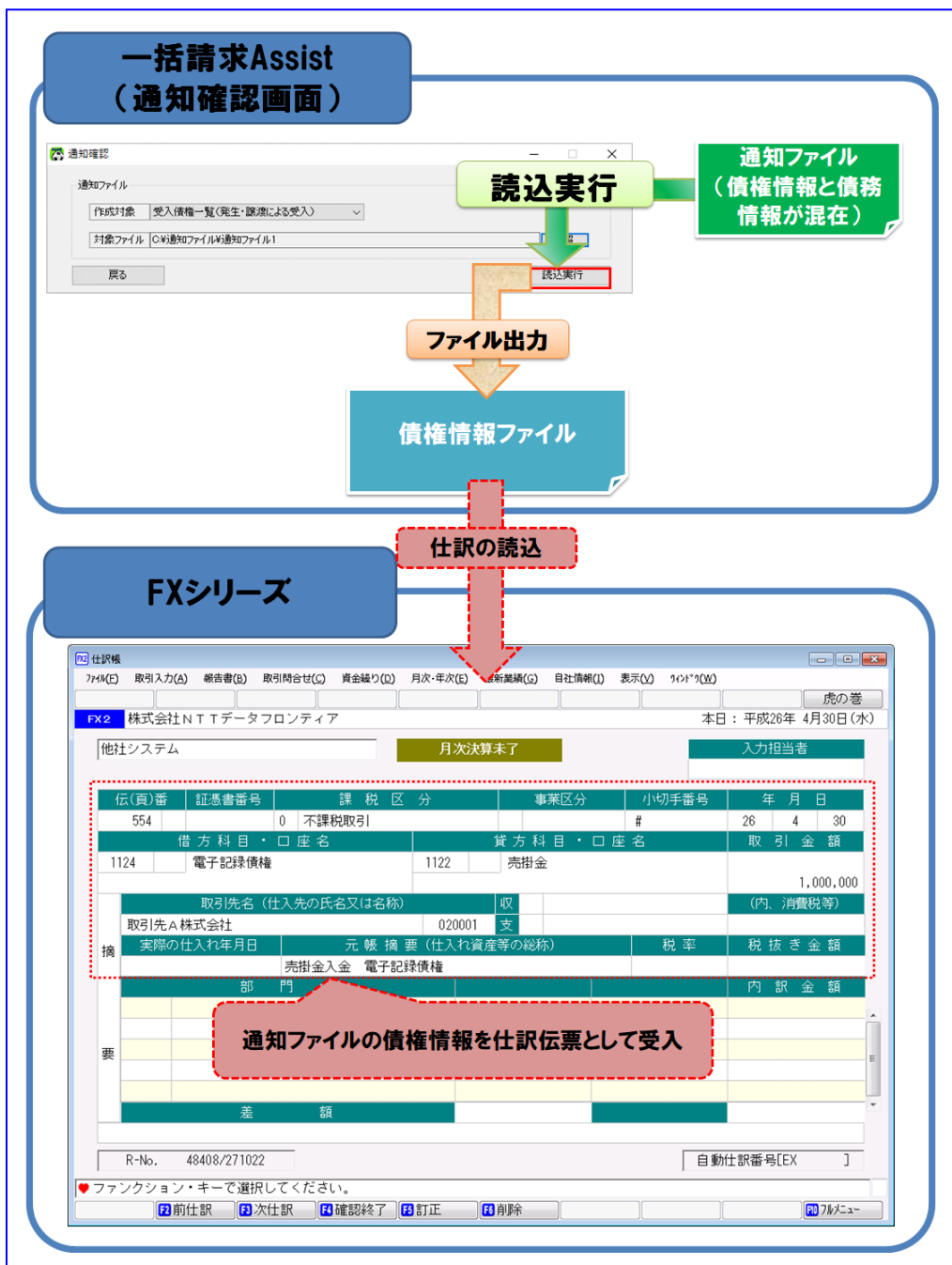
本書では、本ソフトと株式会社TKCの会計ソフト「FXシリーズ」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

本書に記載されていない「FXシリーズ」のその他機能の詳細については、「FXシリーズ」の操作説明をご参照ください。

# 1 連携の概要

## 1.1 連携の概要

本ソフトは、電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1）を読み込み、電子記録債権の債務情報を省いた債権情報ファイル（受入債権一覧）を出力することができます。出力した債権情報ファイルを「FXシリーズ」に読み込むことにより、簡単に仕訳伝票を作成することができます。



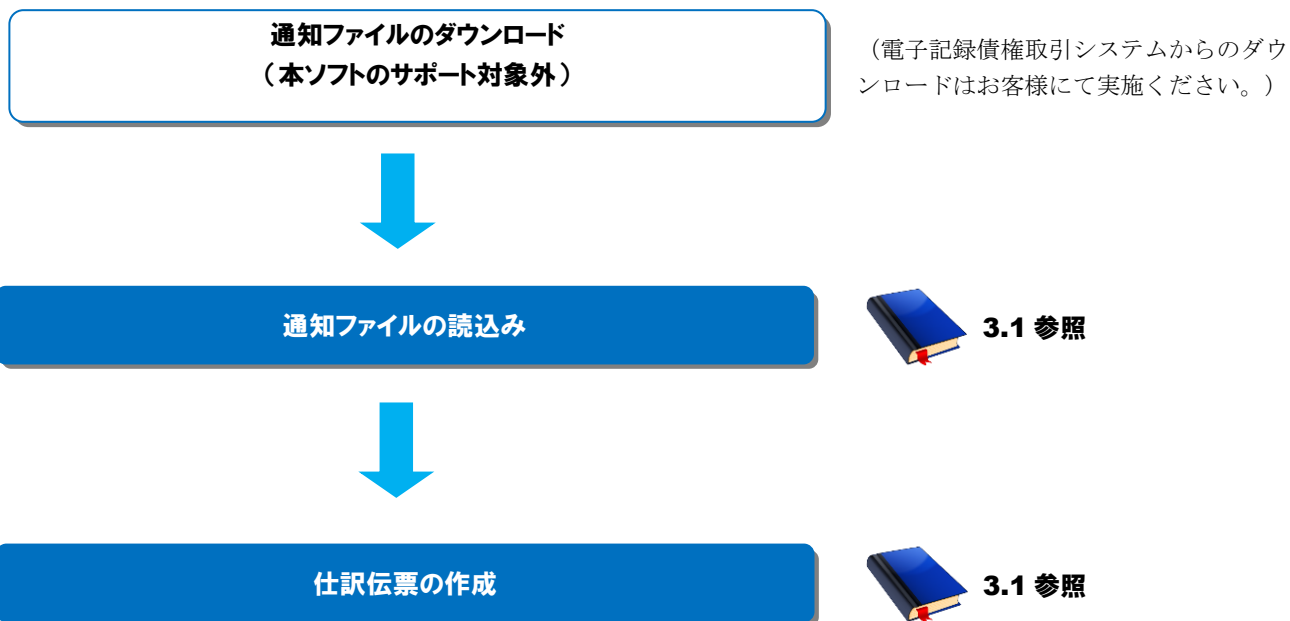
---

## 1.2 連携の流れ

### 事前設定



### 連携手順

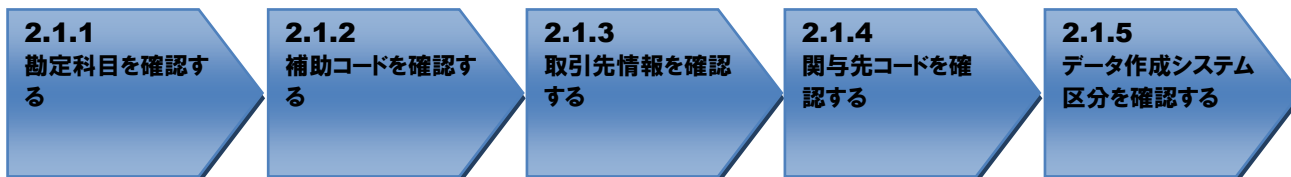


## 2 連携事前設定

### 2.1 「FX シリーズ」の事前設定

連携を行うための「FX シリーズ」の事前設定方法を説明します。

#### 操作手順

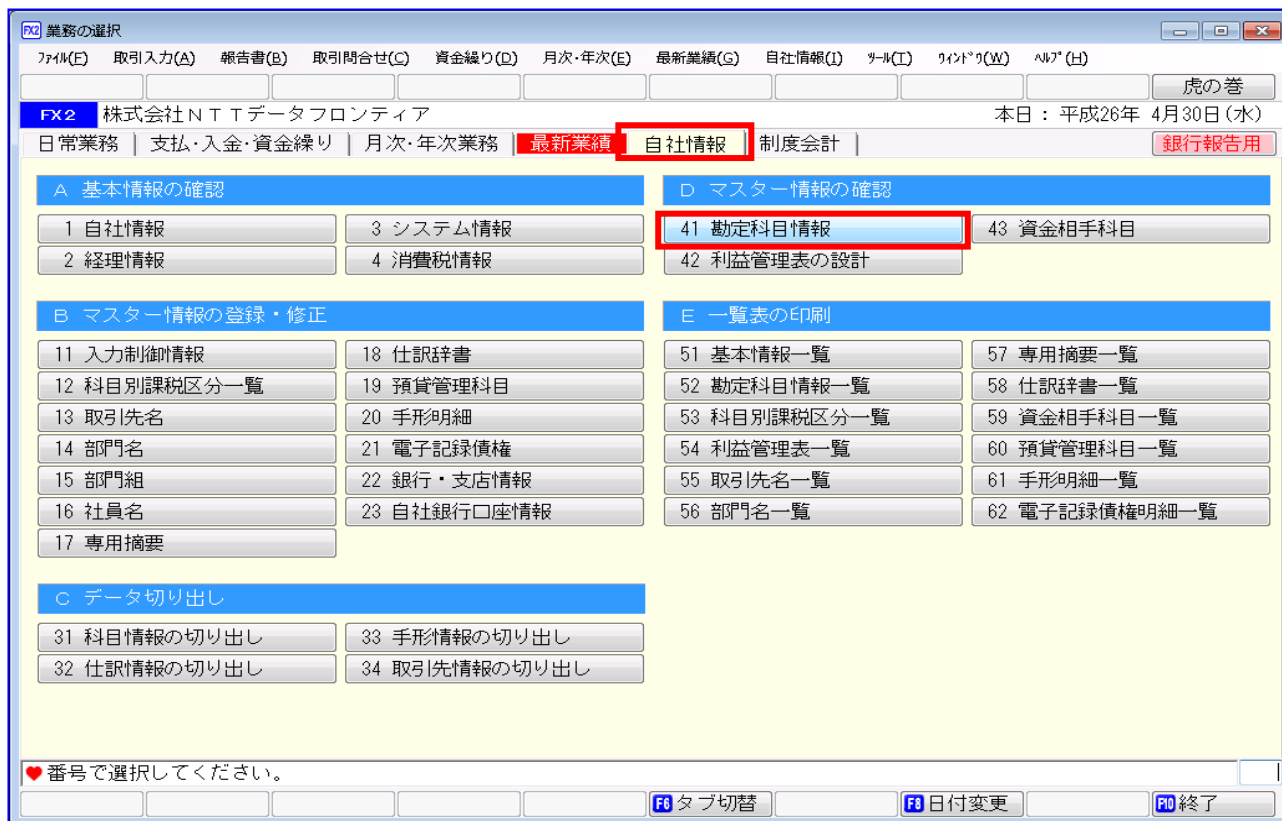


#### 操作方法

##### 2.1.1 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

- お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、[自社情報]>[勘定科目情報]を押下します。
- お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、[会社情報]>[勘定科目情報]を押下します。



勘定科目「電子記録債権」のコードを確認します。

勘定科目情報

744(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(E) 最新業績(G) 自社情報(I) 表示(V) ウィンドウ(W)

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

流動資産 | 固定資産 | 繰延資産 | 負債 | 純資産 | 営業損益 | 営業外損益 | 特別損益 | 当期純利益 | 製品製造原価

当座資産 | たな卸資産 | その他流動資産

コード	勘定科目名	科目基準	元帳	資金	本日(仮)残高 (26年 4月30日)	前月末(仮)残高 (26年 3月31日)
1111	現金	現金	10	*	466,420	514,151
1112	当座預金	現金預金	10	*	0	0
1113	普通預金	//	30	*	15,765,838	17,727,610
1114	定期預金	//	10		0	0
1115		//	10		0	0
1116		//	10		0	0
	現預金小計				16,232,258	18,241,761
1121	受取手形	変更不可	10		3,890,565	1,875,112
1124	電子記録債権	//	30		3,860,902	1,245,903
1122	売掛金	売上債権	20		22,281,503	23,619,430
1123		//	10		0	0
1125	有価証券	変更不可	10		0	0
1126	その他の当座資産		10		0	0
	当座資産計				46,265,228	44,982,206

♥ 設定内容を確認してください。

F3 口座別 F10 フルメニュー



「コード」は、「2.2.4 固定値を設定する」にて、本ソフト用の事前設定として使用する  
ため、値をお控えください。

勘定科目「売掛金」のコードを確認します。

FX2 勘定科目情報

7744(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(E) 最新業績(G) 自社情報(I) 表示(V) リントリ(W)

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

流動資産 | 固定資産 | 繰延資産 | 負債 | 純資産 | 営業損益 | 営業外損益 | 特別損益 | 当期純利益 | 製品製造原価

当座資産 | たな卸資産 | その他流動資産

コード	勘定科目名	科目基準	元帳	資金	本日(仮)残高 (26年 4月30日)	前月末(仮)残高 (26年 3月31日)
1111	現金	現金	10	*	466,420	514,151
1112	当座預金	現金預金	10	*	0	0
1113	普通預金	//	30	*	15,765,838	17,727,610
1114	定期預金	//	10		0	0
1115		//	10		0	0
1116		//	10		0	0
	<b>現預金小計</b>				<b>16,232,258</b>	<b>18,241,761</b>
1121	受取手形	変更不可	10		3,890,565	1,875,112
1124	電子記録債権	//	10		3,860,902	1,245,903
1122	売掛金	売上債権	20		22,281,503	23,619,430
1123		//	10		0	0
1125	有価証券	変更不可	10		0	0
1126	その他の当座資産		10		0	0
	<b>当座資産計</b>				<b>46,265,228</b>	<b>44,982,206</b>

設定内容を確認してください。

取引先別 フルメニュー



「コード」は、「2.2.4 固定値を設定する」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。



本マニュアルは、下記の仕訳を想定しています。

(借) 電子記録債権 / (貸) 売掛金

下記の仕訳など、別の勘定科目を使用する場合は、該当の勘定科目が存在することをご確認ください。

(借) 電子記録債権 / (貸) 売上高



## 2.1.2 補助コードを確認する

勘定科目「電子記録債権」を口座別管理している場合、補助コードを確認します。



勘定科目「電子記録債権」を口座別管理していない場合（補助コードを利用していない場合）、本項の作業は不要です。

- お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、[自社情報]>[勘定科目情報]を押下します。
- お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、[会社情報]>[勘定科目情報]を押下します。

業務の選択

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

日常業務 | 支払・入金・資金繰り | 月次・年次業務 | **最新業績** | **自社情報** | 制度会計 | **銀行報告用**

A 基本情報の確認		D マスター情報の確認	
1 自社情報	3 システム情報	<b>41 勘定科目情報</b>	43 資金相手科目
2 経理情報	4 消費税情報	42 利益管理表の設計	
B マスター情報の登録・修正		E 一覧表の印刷	
11 入力制御情報	18 仕訳辞書	51 基本情報一覧	57 専用摘要一覧
12 科目別課税区分一覧	19 預貸管理科目	52 勘定科目情報一覧	58 仕訳辞書一覧
13 取引先名	20 手形明細	53 科目別課税区分一覧	59 資金相手科目一覧
14 部門名	21 電子記録債権	54 利益管理表一覧	60 預貸管理科目一覧
15 部門組	22 銀行・支店情報	55 取引先名一覧	61 手形明細一覧
16 社員名	23 自社銀行口座情報	56 部門名一覧	62 電子記録債権明細一覧
17 専用摘要			
C データ切り出し			
31 科目情報の切り出し	33 手形情報の切り出し		
32 仕訳情報の切り出し	34 取引先情報の切り出し		

♥番号で選択してください。

タブ切替 日付変更 終了

勘定科目「電子記録債権」を選択し、[口座別]を押下します。

勘定科目情報

7/4/1(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(E) 最新業績(G) 自社情報(I) 表示(V) リントリ(W) 虎の巻

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

流動資産 | 固定資産 | 繰延資産 | 負債 | 純資産 | 営業損益 | 営業外損益 | 特別損益 | 当期純利益 | 製品製造原価

当座資産 | たな卸資産 | その他流動資産

コード	勘定科目名	科目基準	元帳	資金	本日(仮)残高 (26年 4月30日)	前月末(仮)残高 (26年 3月31日)
1111	現金	現金	10	*	466,420	514,151
1112	当座預金	現金預金	10	*	0	0
1113	普通預金	//	30	*	15,765,838	17,727,610
1114	定期預金	//	10		0	0
1115		//	10		0	0
1116		//	10		0	0
	<b>現預金小計</b>				<b>16,232,258</b>	<b>18,241,761</b>
1121	受取手形	変更不可	10		3,890,565	1,875,112
1124	電子記録債権	//	30		3,860,902	1,245,903
1122	売掛金	売上債権	20		22,281,503	23,619,430
1123		//	10		0	0
1125	有価証券	変更不可	10		0	0
1126	その他の当座資産		10		0	0
	<b>当座資産計</b>				<b>46,265,228</b>	<b>44,982,206</b>

♥ 設定内容を確認してください。

FS 口座別 F10 フルメニュー



[口座別]が非表示の場合、もしくは別ボタンが表示されている場合、勘定科目「電子記録債権」は口座別管理を行っていないため、本項の作業は不要です。

補助コードを確認します。

勘定科目情報

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

【口座別管理開始月：26年 4月】

コード	勘定科目名	残高(26年 3月)
1124	電子記録債権	1,245,903

コード	口座名	残高(26年 3月)
A	口座A	0
Z	口座Z	1,245,903

補助コード  
A

口座名  
口座A

フリガナ  
コウザA

残高(26年 3月)  
0

OK キャンセル

処理を選択してください。

F10 並べ替え F10 戻る



「コード」は、「2.2.4 固定値を設定する」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

### 2.1.3 取引先情報を確認する

連携で使用する取引先情報が登録されているか確認します。

- お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、[自社情報]>[取引先名]を押下します。
- お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、[会社情報]>[取引先名]を押下します。

The screenshot shows the 'FX2' accounting software interface. The title bar reads 'FX2 業務の選択'. The main menu includes 'FX2 株式会社NTTデータフロンティア' and '本日:平成26年 4月30日(水)'. The '最新業績' and '自社情報' tabs are highlighted. Under '自社情報', the '13 取引先名' option is selected and highlighted with a red box. Other options include '1 自社情報', '2 経理情報', '3 システム情報', '4 消費税情報', '51 基本情報一覧', '52 勘定科目情報一覧', '53 科目別課税区分一覧', '54 利益管理表一覧', '55 取引先名一覧', '56 部門名一覧', '57 専用摘要一覧', '58 仕訳辞書一覧', '59 資金相手科目一覧', '60 預貸管理科目一覧', '61 手形明細一覧', '62 電子記録債権明細一覧'. The bottom of the screen has a red heart icon and the text '番号で選択してください。' and buttons for 'F4 タブ切替', 'F3 日付変更', and 'F10 終了'.

- 取引先に対応するレコードが存在することを確認します。  
存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。  
(新規作成方法については「FX シリーズ」の操作説明をご参照ください。)

コード	頭	取引先名	順番
020001	トリ	取引先A株式会社	999999
020002	トリ	取引先B株式会社	999999

取引先 020001 取引先A株式会社

基本情報 | 連絡先等 | 課税仕入 | 特記事項 | 管理科目

取引先名 取引先A株式会社  
フリガナ トリヒサカハカブシカイシャ  
頭文字 トリ 略称  
営業所名  
フリガナ  
敬称 御中  
登録日 年 月 日  
設立日 年 月 日  
取引関係 その他 内訳書用  
代表者  
肩書  
氏名  
生年月日 昭和 年 月 日  
性別 男 歳

処理を選択してください。

前頁 次頁 頭文字 表示順番 検索 フルメニュー



電子記録債権を受け入れる対象の取引先をすべて登録しておく必要があります。  
取引先が増減した場合は、都度修正ください。



登録した「コード」は、「2.2.2 取引先を設定する」にて、本ソフト用の事前設定として  
使用するため、コードの頭ゼロを除いた値をお控えください。

## 2.1.4 関与先コードを確認する

連携で使用する関与先コードを確認します。

- お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、[自社情報]>[自社情報]を押下します。
- お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、[会社情報]>[自社情報]を押下します。

FX2 業務の選択

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

日常業務 | 支払・入金・資金繰り | 月次・年次業務 | **最新業績** | **自社情報** | 制度会計 | **銀行報告用**

**A 基本情報の確認**

1 自社情報	3 システム情報	41 勘定科目情報	43 資金相手科目
2 経理情報	4 消費税情報	42 利益管理表の設計	

**B マスター情報の登録・修正**

11 入力制御情報	18 仕訳辞書	51 基本情報一覧	57 専用摘要一覧
12 科目別課税区分一覧	19 預貸管理科目	52 勘定科目情報一覧	58 仕訳辞書一覧
13 取引先名	20 手形明細	53 科目別課税区分一覧	59 資金相手科目一覧
14 部門名	21 電子記録債権	54 利益管理表一覧	60 預貸管理科目一覧
15 部門組	22 銀行・支店情報	55 取引先名一覧	61 手形明細一覧
16 社員名	23 自社銀行口座情報	56 部門名一覧	62 電子記録債権明細一覧
17 専用摘要			

**C データ切り出し**

31 科目情報の切り出し	33 手形情報の切り出し
32 仕訳情報の切り出し	34 取引先情報の切り出し

♥番号で選択してください。

FX2 タブ切替 | FX2 日付変更 | FX2 終了

- ✚ 分類コード・合併コードの3桁の数字（関与先コード）を確認します。

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

FX2 自社情報

1. 分類コード・合併コード 09999 / 999

2. 商号 株式会社NTTデータフロンティア

3. 住所 郵便番号 -

4. 代表者 氏名 田中 一郎 生年月日 年 月 日 性別 男

5. 電話番号 FAX番号

6. 法人組織区分 10 株式会社

7. 業種コード 3913 パッケージソフトウェア業

8. 統合情報センターへの伝送処理

自社から伝送（固定ディスクから伝送）  会計事務所から伝送（伝送データディスクの伝送）

9. 電子帳簿保存法に基づく帳簿の電子保存

実施する 備付け開始日 年 月 日

実施しない

個別処理依頼システムまたはOMSで設定

10. 「制度会計タブ」の利用

利用する

利用しない

11. センター出力帳表の出力指定

当システムで設定   個別処理依頼システムまたはOMSで設定

OK キャンセル

設定内容を確認してください。

フルメニュー



3桁の数字（関与先コード）は、「**2.2.4 固定値を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、コードの頭ゼロを除いた値をお控えください。

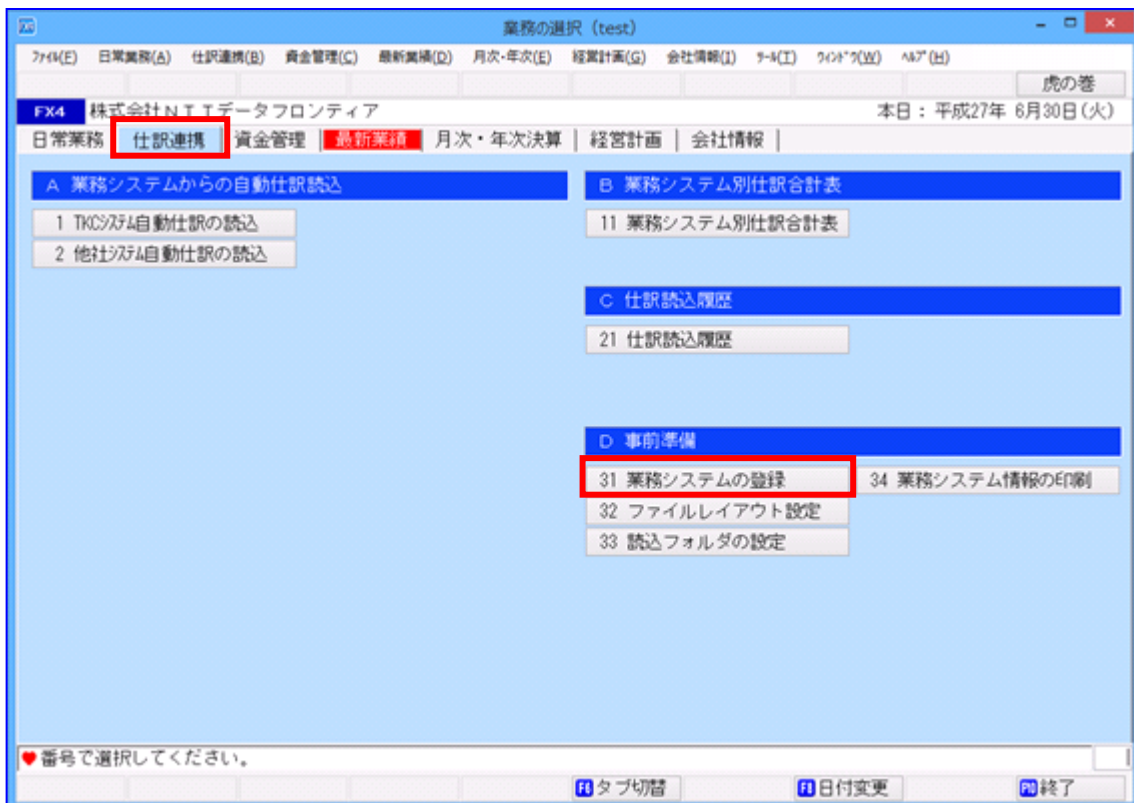
## 2.1.5 データ作成システム区分を確認する

お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、連携で使用するデータ作成システム区分を確認します。



お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、本項の作業は不要です。

✚ [仕訳連携]>[業務システムの登録]を押下します。



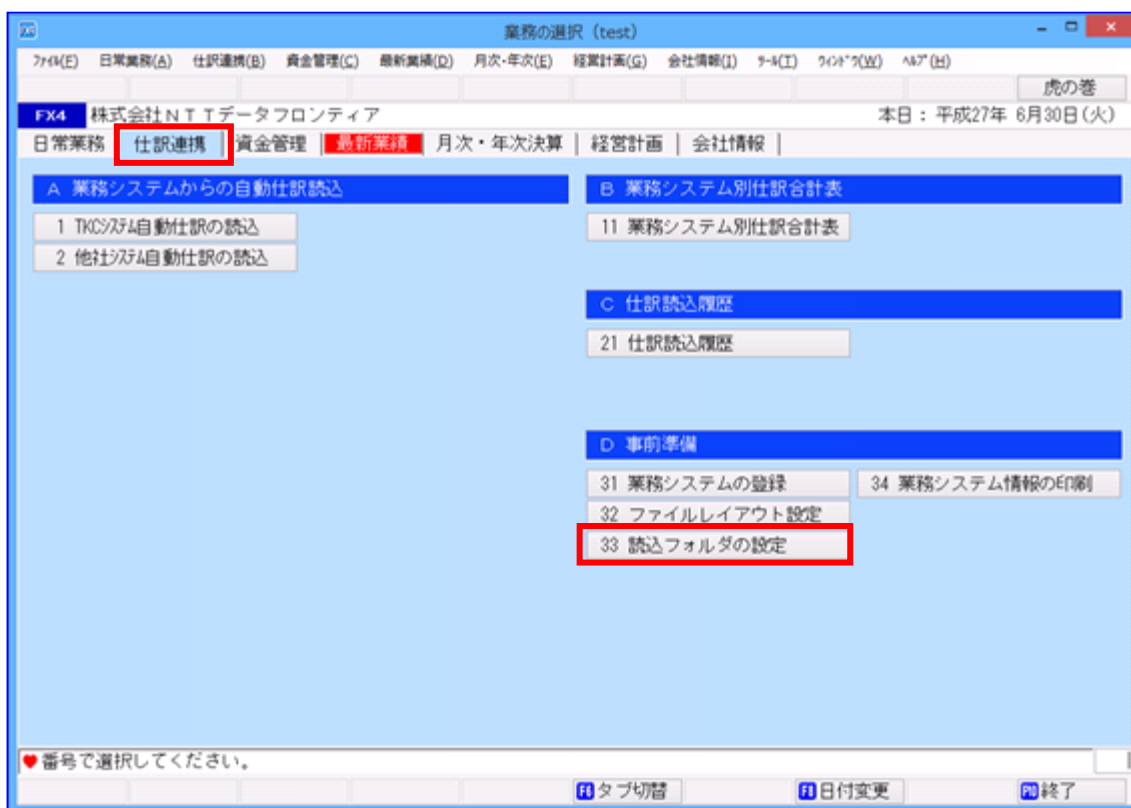


- 本ソフトに対応するレコードが存在することを確認します。  
存在しない場合は、101~998 の中で他と重複しないコードで新規作成します。  
(新規作成方法については「FX4 クラウド」の操作説明をご参照ください。)

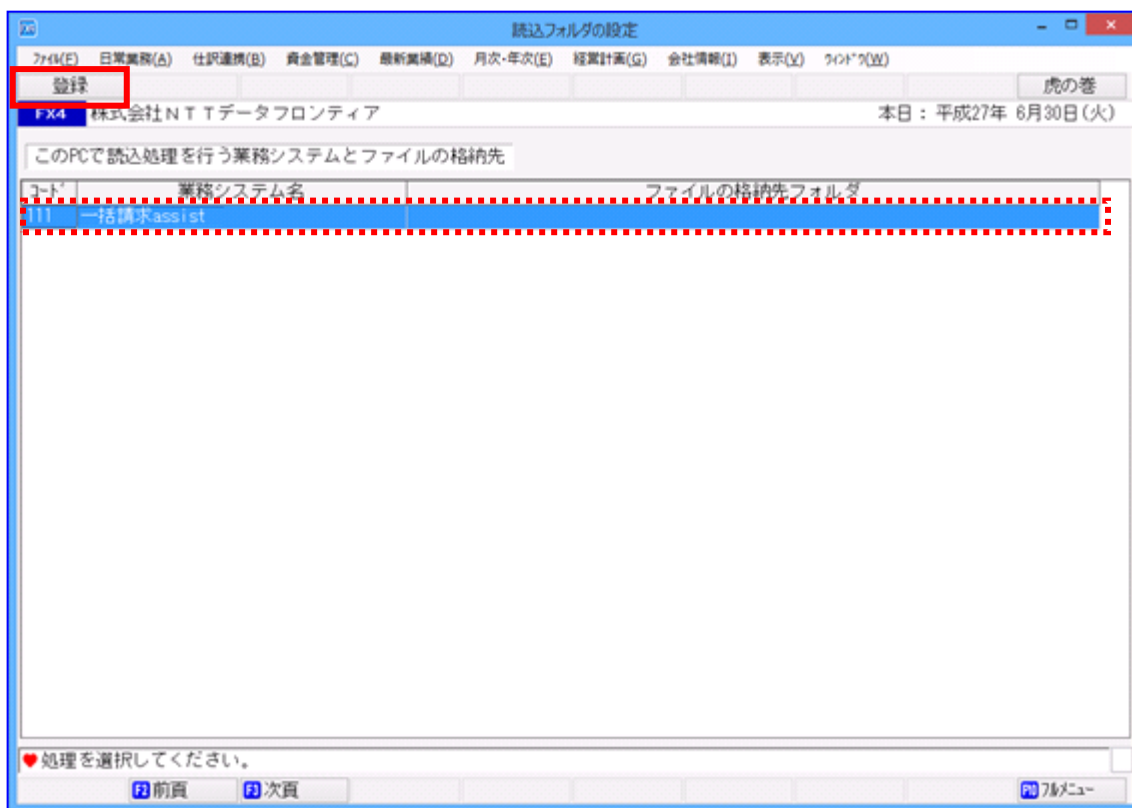


3桁の数字（データ作成システム区分）は、「**2.2.4 固定値を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

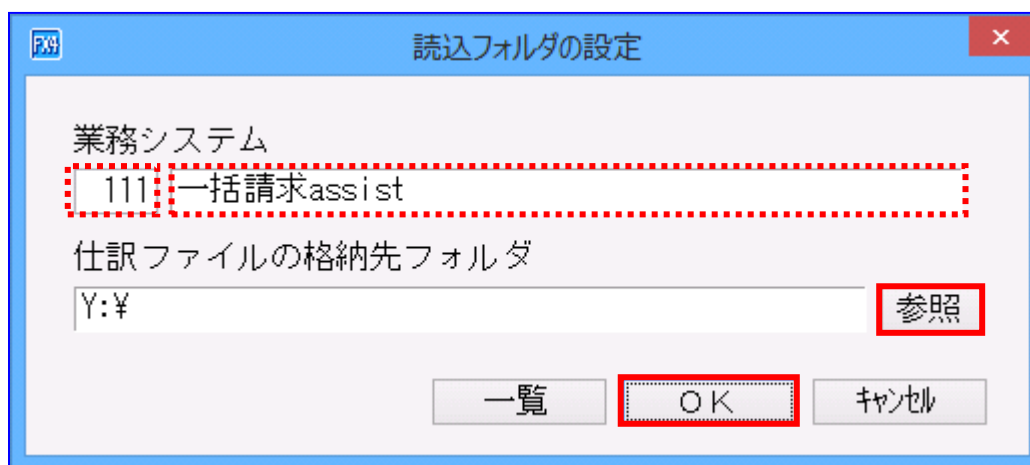
- データ作成システム区分に対応する読込フォルダが設定されていることを確認します。  
[仕訳連携]>[読込フォルダの設定]を押下します。



- 本ソフトに対応するレコードが存在することを確認します。  
存在しない場合は、[登録]を押下します。



- 「業務システム」にデータ作成システム区分と本ソフト名を入力します。  
「仕訳ファイルの格納先フォルダ」は[参照]を押下し、任意のフォルダを選択します。  
上記設定が完了後、[OK]を押下します。

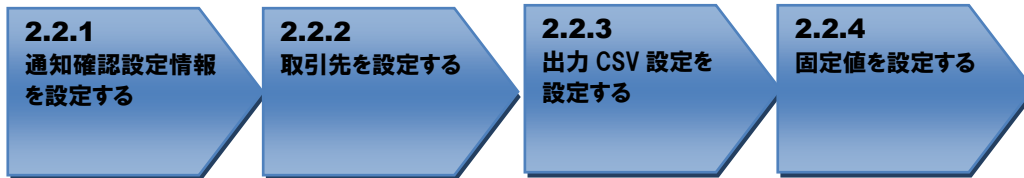


仕訳ファイルの格納先フォルダは、「**3.1.4 仕訳伝票を作成する（FX4 クラウドの場合）**」にて使用するため、値をお控えください。

## 2.2 本ソフトの事前設定

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

### 操作手順



### 操作方法

#### 2.2.1 通知確認設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号  通常利用時  事務代行等での利用時  
利用者番号

ファイル出力先  参照

座種別区分  別段を利用する  別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子  付与する  付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求  表示する  表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無  選択可(保証有り/無し)  選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力  入力する  入力しない

通知確認設定情報

予約通知  出力する  出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット  修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット  修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求ファイル  出力しない

一括請求結果ファイル  出力しない

通知ファイル  出力しない

キャンセル

## 2.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.3 取引先情報を確認する」で登録した取引先情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	
▶ 1	111111111	取引先 A株式会社	0000	001	1:普通	11111111	200
2	222222222	取引先 B株式会社	0000	001	1:普通	22222222	200

- 取引先 ID に取引先情報のコードを登録します。

FXシリーズ

電子記録債権を受け入れる  
対象の取引先

一括請求Assist  
(取引先管理画面)

電子記録債権を受け入れる  
対象の取引先をすべて登録する



- 取引先 ID は、半角英数字で登録してください。
- コードの頭ゼロを除いた値で登録してください。

### 2.2.3 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の使用フォーマットに「連携用\_FX シリーズ (TKC)」を選択し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号  通常利用時  事務代行等での利用時  
利用者番号

ファイル出力先

座種別区分  別段を利用する  別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子  付与する  付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求  表示する  表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無  選択可(保証有り/無し)  選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力  入力する  入力しない

通知確認設定情報

予約通知  出力する  出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル

一括請求結果ファイル

通知ファイル

一括請求Assist標準  
一括請求Assist標準  
配信  
連携用\_勘定奉行 (OBC) \_SN  
連携用\_勘定奉行 (OBC) \_SY  
連携用\_勘定奉行 (OBC) \_BN  
連携用\_勘定奉行 (OBC) \_BY  
連携用\_商奉行 (OBC) \_N  
連携用\_商奉行 (OBC) \_Y  
連携用\_PCA会計 (PCA)  
連携用\_株生会計 (株生)  
連携用\_FXシリーズ (TKC)

## 2.2.4 固定値を設定する

出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、「FX シリーズ」に登録されている関与先コード、データ作成システム区分、借方科目コード、借方補助コード、貸方科目コード、元帳摘要を設定します。

本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の[修正]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box with the following sections and options:

- 共通設定情報**
  - 請求者利用者番号:  通常利用時,  事務代行等での利用時
  - 利用者番号: AAAAAAAAAA
  - ファイル出力先: C:\Users\assist-user\Documents\PackageAssist (参照)
  - 口座種別区分:  別段を利用する,  別段を利用しない
  - 一括請求ファイル拡張子:  付与する,  付与しない
- メニュー表示有無**
  - 発生記録(債権者)請求:  表示する,  表示しない
- 譲渡記録設定情報**
  - 保証随伴有無:  選択可(保証有り/無し),  選択不可(保証有りのみ)
  - 全額譲渡時の金額入力:  入力する,  入力しない
- 通知確認設定情報**
  - 予約通知:  出力する,  出力しない
- 読込CSV設定**
  - 使用フォーマット: 一括請求Assist標準 (修正, 削除, 新規作成, ファイル読込, ファイル出力)
- 出力CSV設定**
  - 使用フォーマット: 速携用\_FXシリーズ (TKC) (修正, 削除, 新規作成, ファイル読込, ファイル出力)
  - 一括請求結果ファイル:  出力する,  出力しない
  - 通知ファイル:  出力する,  出力しない

Buttons: キャンセル, 保存



- 
- ✚ 出力 CSV フォーマットの通知の[設定]を押下します。

出力CSVフォーマット共通設定

共通情報

フォーマット名

フォーマット形式

出力形式

日付形式  YYYYMMDD  YYYY/MM/DD  YYYY/M/D

金額形式  カンマ有  カンマ無

更新

出力CSVフォーマット

一括請求結果  ※未設定

通知

閉じる



連携用の出力 CSV フォーマットについては、「フォーマット名」の修正はできません。

- ✚ 出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値を設定し、[保存]を押下します。  
固定値については次ページ以降の通り設定します。

出力CSVフォーマット詳細設定
×

フォーマット名

対象ファイル

フォーマット形式

CSV項目数

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報\_利用者IDを社内口座管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

義務者情報\_利用者ID、権利者情報\_利用者IDを社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する  設定する  設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 #1		
通知作成日 #1		
通知先情報_利用者番号 #1		
通知先情報_通知先名か #1		
通知先情報_金融機関コード #1		
通知先情報_金融機関名か #1		
通知先情報_支店コード #1		
通知先情報_支店名か #1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
関与先コード	1	
データ作成システム区分	2	999
課税区分	7	0

\*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索

エラージャンプ

固定値の設定は、下記の仕訳を想定しています。  
(借) 電子記録債権 / (貸) 売掛金

25

- ✦ 関与先コードの固定値について  
「FXシリーズ」の「関与先コード」を設定します。

### FXシリーズ (自社情報画面)

FX2 自社情報

ファイル(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・

FX2 株式会社NTTデータフロンティア

自社情報

1. 分類コード・合併コード 09999 / 999 /

2. 商号 株式会社NTTデータフ

3. 住所 郵便番号 -

### 一括請求Assist (出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定
関与先コード	1	999
データ作成システム区分	2	999
課税区分	7	0

\*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。



コードの頭ゼロを除いた値で登録してください。

- データ作成システム区分の固定値について（「FX2」の場合）  
データ作成システム区分の固定値は初期値として「999」が設定されています。

お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、設定済の値をご利用ください。

出力CSVフォーマット詳細設定
×

フォーマット名

対象ファイル

フォーマット形式

CSV項目数

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報\_利用者IDを社内口座管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

義務者情報\_利用者ID、権利者情報\_利用者IDを社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する  自動設定する  自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する  設定する  設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
データ作成システム区分	2	999
課税区分	7	0
事業区分	8	0

\*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索

エラージャンプ

- データ作成システム区分の固定値について（「FX4クラウド」の場合）  
お使いの会計ソフトが「FX4クラウド」の場合、「FX4クラウド」の「データ作成システム区分」を設定します。

**FX4クラウド  
(業務システムの登録画面)**

**一括請求Assist  
(出力CSVフォーマット設定画面)**

出力CSV項目設定  
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
データ作成システム区分	2	111
課税区分	7	0
事業区分	8	0

\*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

- 借方科目コードの固定値について  
「FXシリーズ」の勘定科目「電子記録債権」に対応するコードを設定します。

FXシリーズ  
(勘定科目情報画面)

20 勘定科目情報

7/14(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(O)

**FX2** 株式会社NTTデータフロンティア

流動資産 | 固定資産 | 繰延資産 | 負債 | 純資産 | 営業損益 | 営業外  
 当座資産 | たな卸資産 | その他流動資産 |

コード	勘定科目名	科目基準	元帳
1111	現金	現金	10
1112	当座預金	現金預金	10
1113	普通預金	//	30
1114	定期預金	//	10
1115		//	10
1116		//	10
現預金小計			
1121	受取手形	変更不可	10
1124	電子記録債権	//	30
1122	売掛金	上債権	20

一括請求Assist  
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方科目コード	9	1124
借方補助コード	10	
貸方科目コード	11	1122

\*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

「借方科目コード」には「1124」が初期設定されています。  
「1124」以外の借方科目コードを設定する場合にのみ、設定する必要があります。

29

- 借方補助コードの固定値について  
「FX シリーズ」の勘定科目「電子記録債権」に対応する補助コードを設定します。

### FXシリーズ (勘定科目情報画面)

**FX2** 株式会社NTTデータフロンティア

【 座別管理開始月：26年 4月 】

コード	勘定科目名	残高(26年 3月)
1124	電子記録債権	1,245,903

コード	口座名	残高(26年 3月)
A	口座A	0
Z	口座Z	1,245,903

### 一括請求Assist (出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方補助コード	10	A
貸方科目コード	11	1122
貸方補助コード	12	

\*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

勘定科目「電子記録債権」を口座別管理していない場合（補助コードを利用していない場合）、本項の作業は不要です。

- 貸方科目コードの固定値について  
「FX シリーズ」の勘定科目「売掛金」に対応するコードを設定します。

FXシリーズ  
(勘定科目情報画面)

コード	勘定科目名	科目基準	元帳
1111	現金	現金	10
1112	当座預金	現金預金	10
1113	普通預金	//	30
1114	定期預金	//	10
1115		//	10
1116		//	10
現金小計			
1121	受取手形	変更不可	10
1124	電子記録債権	//	30
1122	売掛金	上債権	20

一括請求Assist  
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名 *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名 *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名 *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
貸方科目コード	11	1122
貸方補助コード	12	
内、消費税等	16	0

\*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。



「貸方科目コード」には「1122」が初期設定されています。  
「1122」以外の貸方科目コードを設定する場合にのみ、設定する必要があります。



- 元帳摘要の固定値について  
元帳摘要の固定値は初期値として「売掛金入金 電子記録債権」が設定されています。

元帳摘要の固定値は「FX シリーズ」と連携した際に仕訳帳画面の「元帳摘要（仕入れ資産等の総称）」に連携されます。

仕訳帳画面の「元帳摘要（仕入れ資産等の総称）」に「売掛金入金 電子記録債権」を登録したい場合、設定済の値をご利用ください。

仕訳帳画面の「元帳摘要（仕入れ資産等の総称）」に「売掛金入金 電子記録債権」以外の文言を登録したい場合、固定値に該当の文言を設定します。

一括請求Assist  
 (出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定  
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名が *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名が *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名が *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
元帳摘要	24	売掛金入金 電子...
部門コード	28	
部門数	29	

\*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

FXシリーズ  
 (仕訳帳画面)

仕訳帳

FX2 株式会社NTTデータフロンティア

他社システム

伝(頁)番	証憑書番号	課税	分	事業区分
554		0	不課税取引	
借方科目・口座名		貸方科目・		
1124	電子記録債権	1122	売掛金	
取引先名 (仕入先の氏名又は名称)				収
				020001 支
目				元帳摘要 (仕入れ資産等の総称)
				売掛金入金 電子記録債権
部門名				

仕訳帳画面に登録したい文言を固定値に設定する



「(借) 電子記録債権 / (貸) 売掛金」以外の仕訳を作成する場合は、固定値を下記の通り設定してください。

No	固定値の項目名	固定値の初期値	設定値
1	関与先コード	空	・「FX シリーズ」関与先画面の「関与先コード」をコードの頭ゼロを除いた値を設定
2	データ作成システム区分	999	・お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、修正不要 ・お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、該当の値を設定
3	課税区分	0	・当該仕訳が不課税取引の場合、修正不要 ・当該仕訳が課税取引の場合、「FX シリーズ」が定める課税区分※を設定 ※課税区分とは、取引が消費税法上どのような取引であるかを明らかにする区分。詳細は「FX シリーズ」の操作説明をご参照ください
4	事業区分	0	・「FX シリーズ」の消費税情報で事業区分を入力しない設定の場合、または「課税区分」が「1」「11」以外の場合、修正不要 ・上記以外の場合、該当の値を設定
5	借方科目コード	1124	・該当の勘定科目コードを設定
6	借方補助コード	空	・借方科目を口座別管理している場合、該当の値を設定 ・借方科目を口座別管理していない場合、修正不要
7	貸方科目コード	1122	・該当の勘定科目コードを設定
8	貸方補助コード	空	・貸方科目を口座別管理している場合、該当の値を設定 ・貸方科目を口座別管理していない場合、修正不要
9	内、消費税等	0	・当該仕訳が課税対象である場合、「1」を設定 ・当該仕訳が課税対象でない場合、修正不要
10	消費税率	0	・「内、消費税等」が「1」の場合、頭ゼロを除いた消費税率を設定 ・例1：消費税率が8%の場合、「800」を設定 ・例2：消費税率が10%の場合、「1000」を設定 ・「内、消費税等」が「0」の場合、修正不要
11	元帳摘要	売掛金入金 電子記録債権	・「FX シリーズ」と連携した際に、仕訳帳画面の「元帳摘要（仕入れ資産等の総称）」に登録する文言を設定※ ※仕訳帳画面の「元帳摘要（仕入れ資産等の総称）」に文言「売掛金入金 電子記録債権」を登録する場合、修正不要
12	部門コード	空	・当該仕訳が損益科目を使用している場合、かつ関わる部門数が1の場合、該当部門コードをコードの頭ゼロを除いた値を設定 ・上記以外の場合、修正不要
13	部門数	0	・当該仕訳が損益科目を使用している場合、1を設定 ・当該仕訳が損益科目を使用していない場合、修正不要

【参考】固定値の属性と桁数について

出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値について、各項目は半角／全角で設定可能ですが、下記以外の属性と桁数で入力した場合、債権情報ファイル作成時にエラーが発生します。

No	固定値の項目名	属性	桁数	必須／任意	備考
1	関与先コード	半角数字	3	必須	頭ゼロを除いた値を設定
2	データ作成システム区分	半角数字	40	必須	
3	課税区分	半角文字	2	任意	
4	事業区分	半角数字	1	任意	0～5 を設定
5	借方科目コード	半角数字	4	必須	1000～9999 を設定
6	借方補助コード	半角文字	3	任意	
7	貸方科目コード	半角数字	4	必須	1000～9999 を設定
8	貸方補助コード	半角文字	3	任意	
9	内、消費税等	半角数字	1	任意	0～1 を設定
10	消費税率	半角数字	5	任意※	頭ゼロを除いた値を設定 ※「内、消費税等」が1の場合、必須入力
11	元帳摘要	全角／半角	※	任意	※全角文字は2バイト／1文字、半角文字は1バイト／1文字として、あわせて40バイトまで入力可能（全角文字と半角文字の混在可能）
12	部門コード	半角数字	3	任意	・頭ゼロを除いた値を設定 ・0～998 を設定
13	部門数	半角数字	1	任意	0～1 を設定

【参考】出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値)
1	CSV 項目数	34
2	利用者 ID の自動設定有無	
3	利用者 ID の自動設定有無 (通知先情報)	自動設定しない
4	利用者 ID の自動設定有無 (義務者情報、権利者情報)	自動設定する
5	タイトル行有無	
6	タイトル行有無	設定しない
7	出力 CSV 項目設定	
8	データレコード項目	
9	作成対象区分	-
10	通知作成日	-
11	通知先情報_利用者番号	-
12	通知先情報_通知先名か	-
13	通知先情報_金融機関コード	-
14	通知先情報_金融機関名か	-
15	通知先情報_支店コード	-
16	通知先情報_支店名か	-
17	通知先情報_口座種別	-
18	通知先情報_口座番号	-
19	通知先情報_利用者 ID	-
20	合計件数 (件)	-
21	合計金額 (円)	-
22	データレコード区分	-
23	義務者情報_義務者名	-
24	義務者情報_金融機関コード	-
25	義務者情報_金融機関名か	-
26	義務者情報_支店コード	-
27	義務者情報_支店名か	-
28	義務者情報_口座種別	-
29	義務者情報_口座番号	-
30	義務者情報_利用者 ID	19
31	権利者情報_権利者名	-
32	権利者情報_金融機関コード	-
33	権利者情報_金融機関名か	-
34	権利者情報_支店コード	-
35	権利者情報_支店名か	-
36	権利者情報_口座種別	-
37	権利者情報_口座番号	-
38	権利者情報_利用者 ID	-
39	債権金額 (円)	15
40	支払期日	-
41	譲渡制限有無	-
42	記録番号	-
43	依頼人 Ref. No.	-
44	電子記録年月日	4
45	取消区分	-

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値)
46	データレコード項目 (任意項目)	
47	関与先コード	1 (固定値: 空)
48	データ作成システム区分	2 (固定値: 999)
49	課税区分	7 (固定値: 0)
50	事業区分	8 (固定値: 0)
51	借方科目コード	9 (固定値: 1124)
52	借方補助コード	10 (固定値: 空)
53	貸方科目コード	11 (固定値: 1122)
54	貸方補助コード	12 (固定値: 空)
55	内、消費税等	16 (固定値: 0)
56	消費税率	18 (固定値: 0)
57	元帳摘要	24 (固定値: 売掛金入金 電子記録債権)
58	部門コード	28 (固定値: 空)
59	部門数	29 (固定値: 0)

【参考】出力ファイルフォーマット

No	項目名	出力内容(※1)	備考
1	関与先コード	固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
2	データ作成システム区分	固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
3	レコード番号	固定値:1~999999999 の連番	
4	取引年月日	通知ファイル, 電子記録年月日	
5	伝票番号	固定値:0	
6	証憑書番号	- (設定しない)	項目区切りのタブのみ
7	課税区分	固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
8	事業区分	固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
9	借方科目コード	固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
10	借方補助コード	固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
11	貸方科目コード	固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
12	貸方補助コード	固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
13	小切手番号	- (設定しない)	項目区切りのタブのみ
14	FILLER	固定値:0	
15	取引金額	通知ファイル, 債権金額	
16	内、消費税等	① 固定値:0 ② 「取引金額」と「消費税率」より自動計算した消費税額の値※ (小数点以下は四捨五入)  ※出力 CSV フォーマット詳細設定画面「内、消費税等」で1を設定した場合、「取引金額」は税込金額となるため、出力ファイル「内、消費税等」に設定される消費税額の値は「取引金額」の税抜金額を基に計算する	① 出力 CSV フォーマット詳細設定画面「内、消費税等」で0を設定した場合 ② 出力 CSV フォーマット詳細設定画面「内、消費税等」で1を設定した場合
17	税額入力区分	① 固定値:0 ② 固定値:1	① 出力 CSV フォーマット詳細設定画面「内、消費税等」で0を設定した場合 ② 出力 CSV フォーマット詳細設定画面「内、消費税等」で1を設定した場合
18	消費税率	固定値:出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
19	取引先コード	通知ファイル, 義務者情報の口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号)に一致する取引先管理情報, 取引先 ID を自動設定	一致する取引先管理情報が存在しない場合, 0 を設定する
20	取引先名	- (設定しない)	項目区切りのタブのみ
21	実際の仕入れ日 入力パターン	固定値:0	
22	実際の仕入れ 開始年月日	固定値:0	

No	項目名	出力内容(※1)	備考
23	実際の仕入れ 終了年月日	固定値：0	
24	元帳摘要	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定 画面で設定された値	
25	FILLER	- (設定しない)	項目区切りのタブのみ
26	資金大分類	固定値：0	
27	資金小分類	固定値：0	
28	部門コード	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定 画面で設定された値	
29	部門数	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定 画面で設定された値	
30	部門金額入力区分	固定値：0	
31	FILLER	固定値：0	
32	自動仕訳番号	固定値：0	
33	支払予定日	固定値：0	
34	回収予定日	固定値：0	

※1 出力ファイルはタブ区切りファイルとして出力されます。

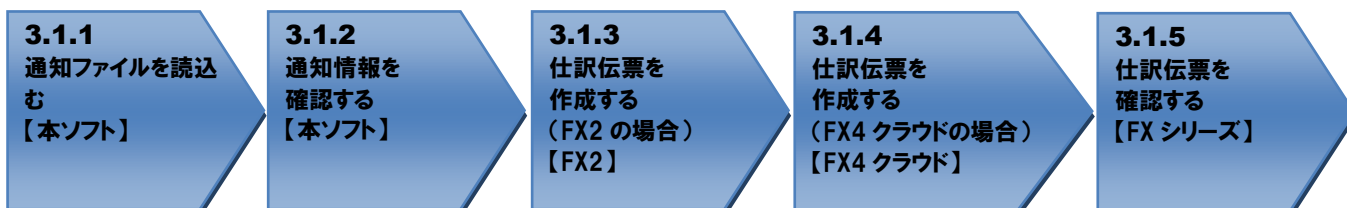
(出力ファイルフォーマットの詳細については「FX シリーズ」のヘルプをご参照ください。)

## 3 連携手順

### 3.1 連携手順

「FX シリーズ」と本ソフトの連携手順を説明します。

#### 操作手順



#### 操作方法

##### 3.1.1 通知ファイルを読み込む

本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「FX シリーズ」に読み込ませる債権情報ファイルを作成します。

- 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択します。

通知確認

通知ファイル

作成対象 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)

対象ファイル 参照

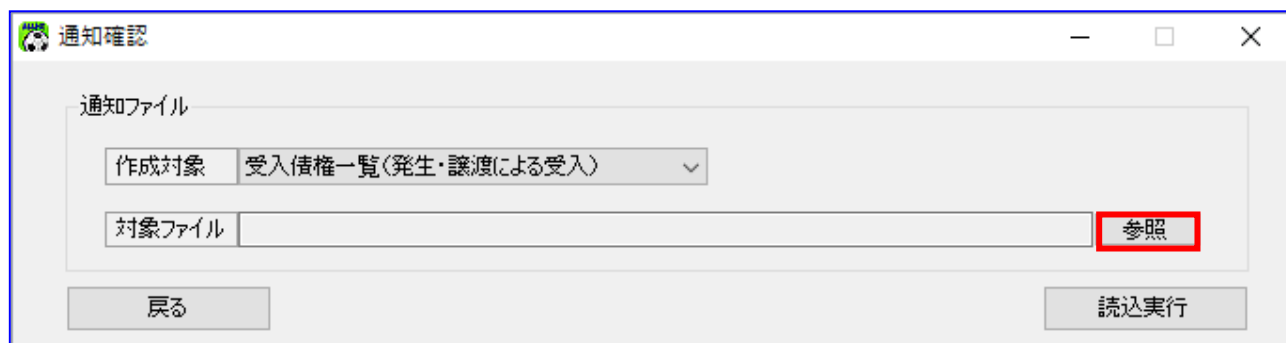
戻る 読み込み実行



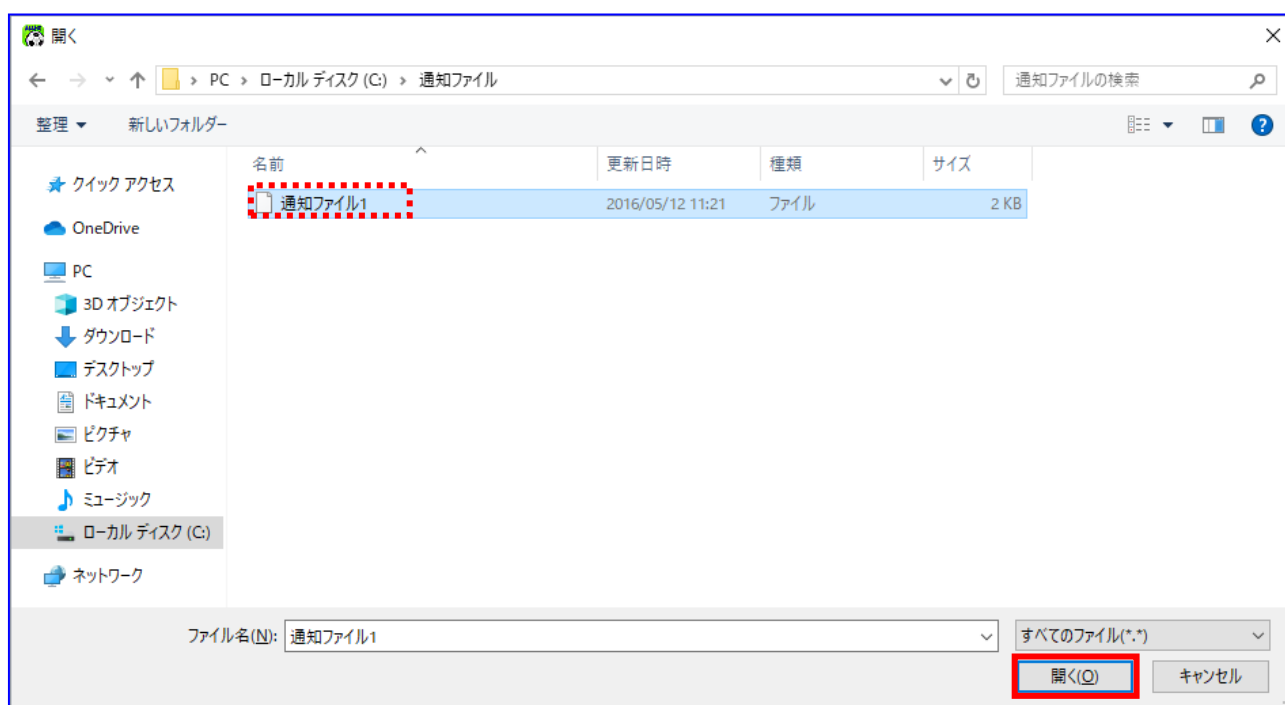
「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した場合、通知ファイルから発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を作成します。読み込んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報（通知先情報の口座情報）が設定されている債権を抽出します。



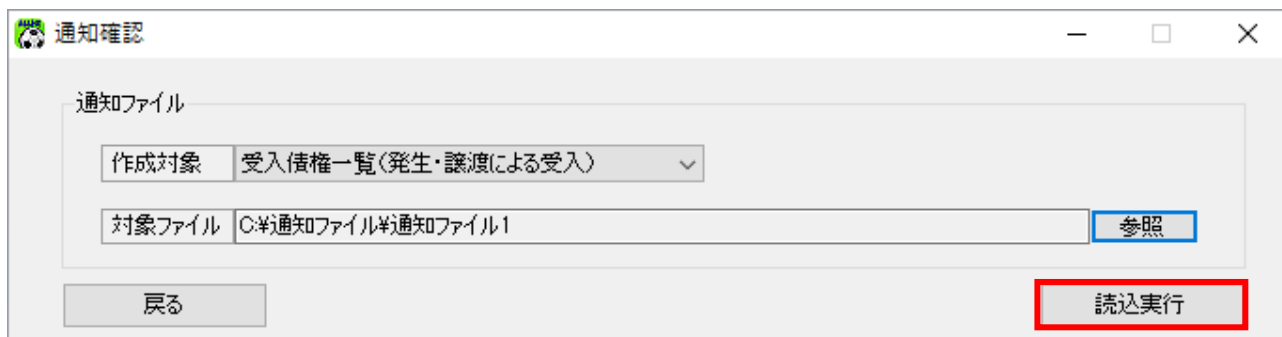
- ✚ 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます。  
[参照]を押下します。



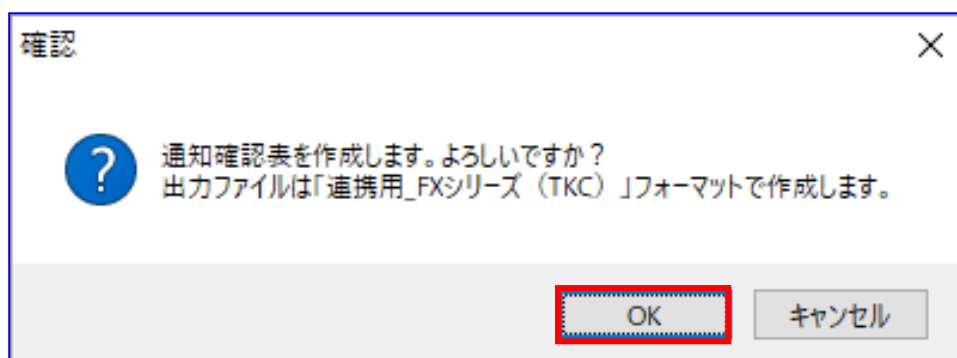
- ✚ [参照]を押下すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。  
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ 選択したファイルが対象ファイルに表示されます。  
[読込実行]を押下します。



- ✚ [読込実行]を押下すると、確認ダイアログが表示されます。  
よろしければ、[OK]を押下します。



「**2.2.3 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名（連携用\_FX シリーズ (TKC)）が表示されます。

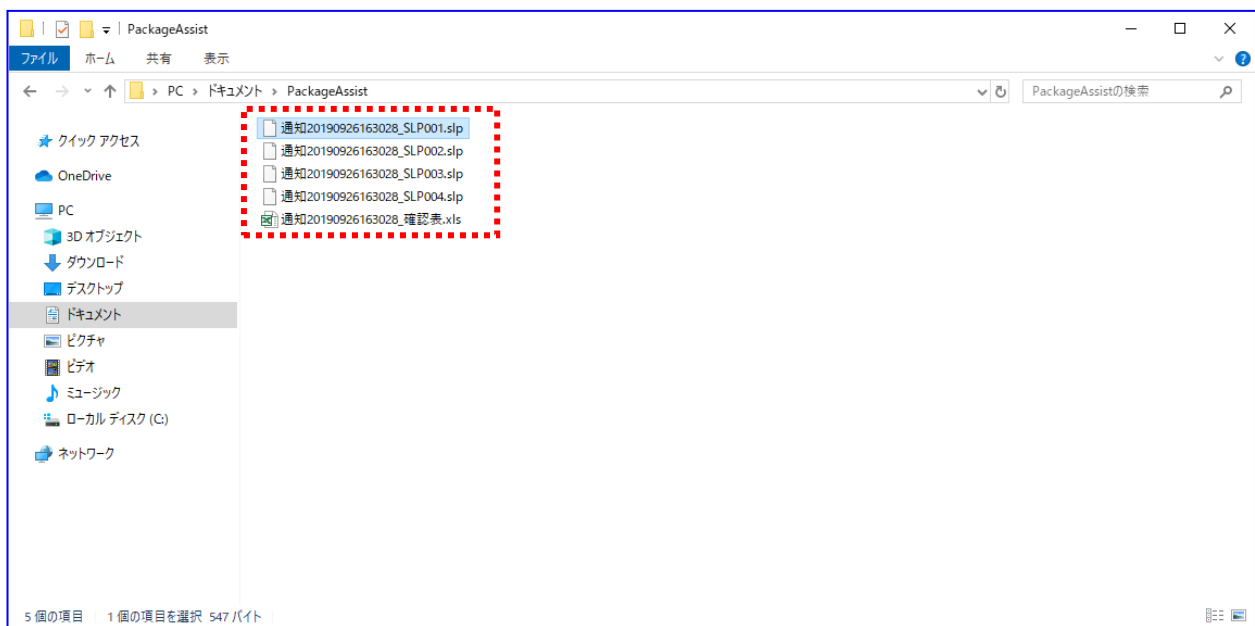


[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご参照ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、確認ダイアログが表示されます。作成した通知確認表の保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、通知確認表、債権情報ファイルが作成されていることを確認します。



通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

通知確認表	: 通知 YYYYMMDDhmmss_確認表.xls
債権情報ファイル	: 通知 YYYYMMDDhmmss_SLPxxx.slp

### 3.1.2 通知情報を確認する

- 出力された通知確認表を開きます。  
(通知確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.8.1 通知確認表(概要)**」、「**6.2.8.2 通知確認表**」をご参照ください。)

通知確認表は、「概要シート」と「詳細シート」で構成されています。

- 「概要シート」には、各詳細シートにおける「出力ファイル」、「通知先情報」、「合計件数」、「合計金額」の一覧が出力されています。

#### 例)通知確認表(概要シート)

通知確認表(概要)										出力日時:2016/04/30 14:47:24		
対象ファイル:通知ファイル1												
作成対象 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)												
予約通知(出力条件) 出力しない												
No	シート名	出力ファイル	通知先利用者番号	通知先名	通知先口座情報			合計件数(件)	合計金額(円)			
1	通知確認表001	通知20160430144724_SLPO01.sfp	AAAAAAAA	NTTフレッヂ	0000	セゾ	001	セゾ	2:当座	1110000	1	1,000,000
2	通知確認表002	通知20160430144724_SLPO02.sfp	AAAAAAAA	NTTフレッヂ	0000	セゾ	001	セゾ	2:当座	1110000	2	2,000,000
3	通知確認表003	通知20160430144724_SLPO03.sfp	AAAAAAAA	NTTフレッヂ	0000	セゾ	001	セゾ	2:当座	1110000	3	3,000,000
4	通知確認表004	通知20160430144724_SLPO04.sfp	AAAAAAAA	NTTフレッヂ	0000	セゾ	001	セゾ	2:当座	1110000	4	4,000,000

通知確認表(概要) 通知確認表001 通知確認表002 通知確認表003 通知確認表004

概要シート

詳細シート

- 「詳細シート」には、読込んだ通知ファイルの通知先口座情報ごとの詳細情報が出力されています。

#### 例)通知確認表(詳細シート)

通知確認表001										出力日時:2016/04/30 14:47:24		
出力ファイル:通知20160430144724_SLPO01.sfp												
作成対象 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)												
予約通知(出力条件) 出力しない		通知作成日 2016/04/30		通知先利用者番号 AAAAAAAAA		通知先名 NTTフレッヂ		通知先口座情報 0000 セゾ 001 セゾ 2:当座 1110000		合計件数(件) 1	合計金額(円) 1,000,000	
種別コード 80:発生・譲渡通知		通知先名		通知先名		通知先名		通知先名				
文字コード区分 0:JIS		電子記録年月日		支払期日		債務者名		債権者名		譲渡制限		
1	01:発生 (債務者請求)	111111111100000100000	1,000,000	2016/04/30	債務者	NTTフレッヂ	0000	セゾ	001	セゾ	1:普通 1111111	0:無
				2016/05/30	債権者	NTTフレッヂ	0000	セゾ	001	セゾ	2:当座 1110000	



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）ごとに作成されます。

電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

出力ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび出力ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび出力ファイルは出力されません。

### 3.1.3 仕訳伝票を作成する(FX2の場合)

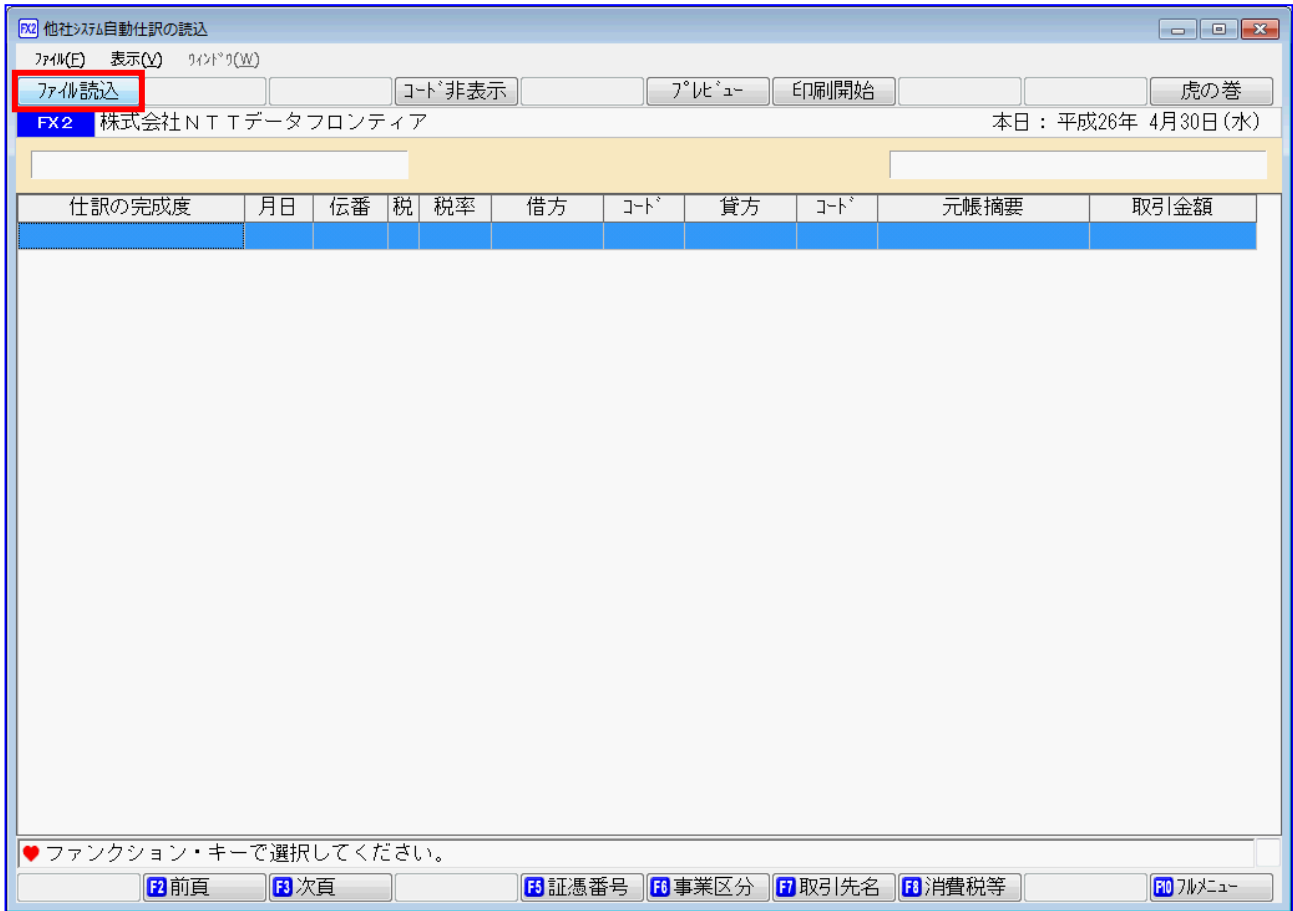
「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報ファイルを「FX2」で読み込み、仕訳伝票を作成します。



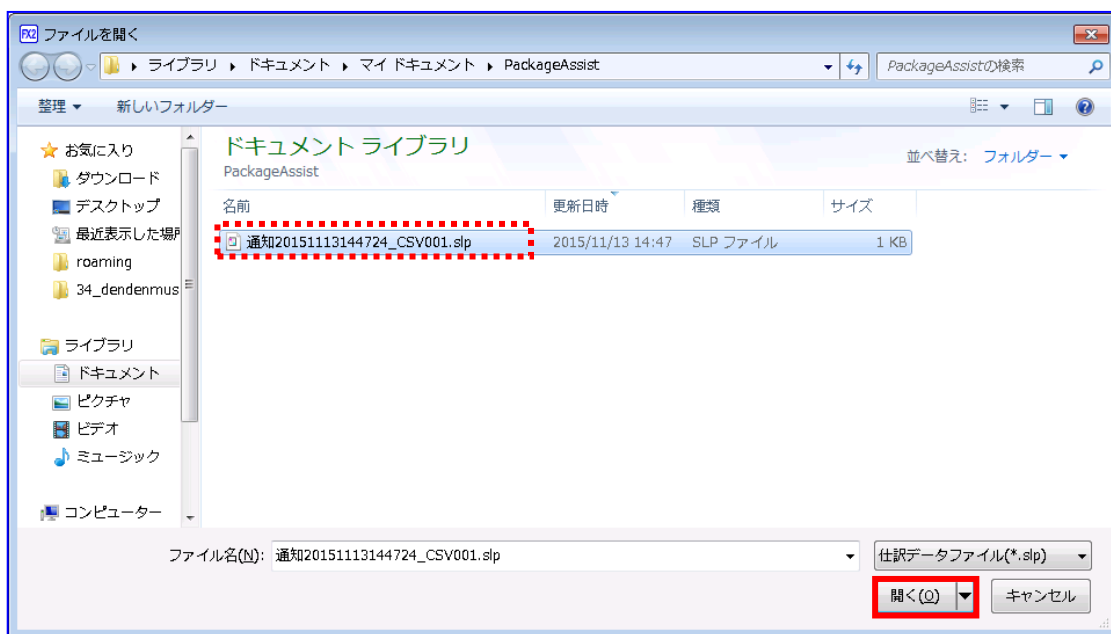
お使いの会計ソフトが「FX4 クラウド」の場合、本項の作業は不要です。

「FX2」を開き、[日常業務]>[他社システム自動仕訳の読込]を押下します。

✚ [ファイル読込]を押下します。



✚ 「3.1.1 通知ファイルを読込む」で作成した債権情報ファイルを選択し、[開く]を押下します。



「仕訳の完成度」がOKになったことを確認し、[一括読込]を押下します。

他社システム自動仕訳の読込

ファミ(E) 表示(V) リスト(W)

コード非表示 プレビュー 印刷開始 虎の巻

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

他社システム 平成26年 4月30日～平成26年 4月30日

仕訳の完成度	月日	伝番	税	税率	借方	コード	貸方	コード	元帳摘要	取引金額
OK	4.30		0		電子記録	1124A	売掛金	1122	売掛金入金 電子記	1,000,000

**通知ファイルの債権情報**

♥ ファンクション・キーで選択してください。

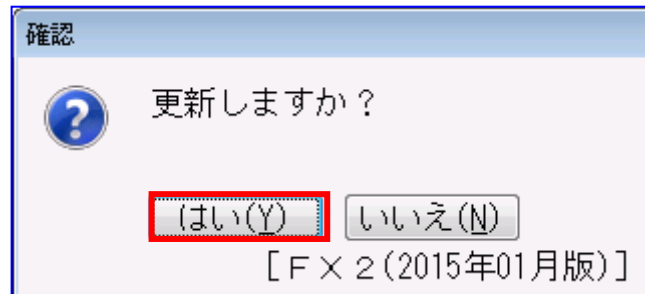
F2 前頁 F3 次頁 **F4 一括読込** F5 証憑番号 F6 事業区分 F7 取引先名 F8 消費税等 F10 ヘルプメニュー



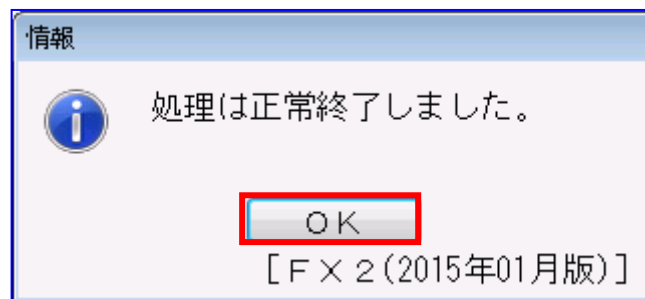
エラーが表示されている場合、表示されるエラー内容を確認してください。  
また、「2 連携事前設定」の設定が正しく行われているか確認してください。



- 
- ✚ [一括読込]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。  
よろしければ、[はい]を押下します。



- ✚ [はい]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。  
[OK]を押下します。



「**3.1.1 通知ファイルを読込む**」にて複数の債権情報ファイルが作成された場合、  
本項の処理をファイル数分繰り返して受入を行ってください。



債権情報ファイルを読込んだ場合、拡張子は下記の通り変更され、再度債権情報  
ファイルを読込むことはできません。  
変更前：通知 YYYYMMDDhhmmss\_SLPxxx.slp  
変更後：通知 YYYYMMDDhhmmss\_SLPxxx.slpYYYYMMDD

### 3.1.4 仕訳伝票を作成する(FX4 クラウドの場合)

「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報ファイルを「FX4 クラウド」で読み込み、仕訳伝票を作成します。

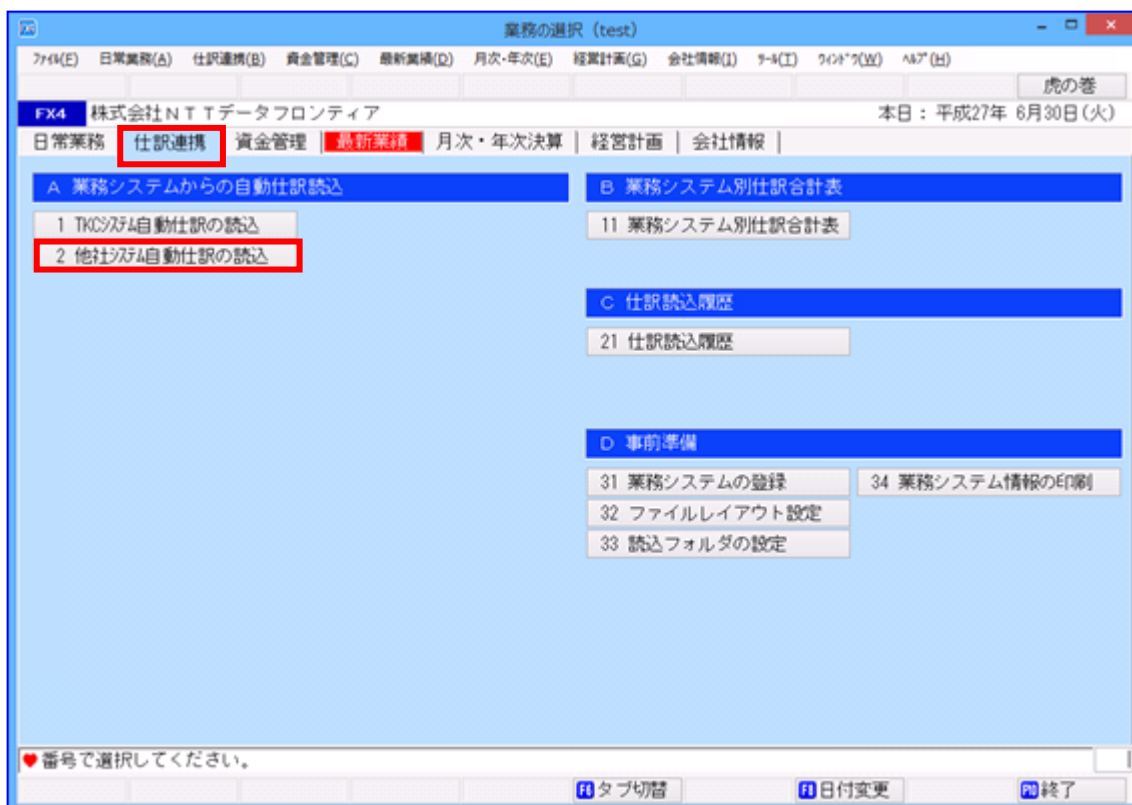


お使いの会計ソフトが「FX2」の場合、本項の作業は不要です。



「3.1.1 通知ファイルを読み込む」にて作成した債権情報ファイルは、事前に「2.1.5 データ作成システム区分を確認する」で設定した仕訳ファイルの格納先フォルダに格納してください。

✚ 「FX4 クラウド」を開き、[仕訳連携]>[他社システム自動仕訳の読み込み]を押下します。



- ✚ 債権情報ファイルの「今回読込」をチェックし、[次へ（整合性チェック開始）]を押下します。

他社システム自動仕訳の読込

ファイル(E) 日業業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新実績(D) 月次・年次(E) 経費計画(G) 会社情報(I) 表示(O) ヘルプ(H)

FX4 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成27年 6月30日(火)

業務プロセス

1. 今回読み込むファイルの選択

コード	業務システム名	ファイル名	作成日時	更新日時	今回読込
111	一括請求assist	a201506999101.slp	2016/01/12 21:40:48	2015/08/28 18:11:24	<input checked="" type="checkbox"/>

2. ファイルの整合性チェック

3. 仕訳読込処理の実行

次へ（整合性チェック開始）

♥ 今回読み込まないファイルの場合、「今回読込」欄のチェックを外してください。



「3.1.1 通知ファイルを読込む」にて複数の債権情報ファイルが作成された場合、「今回読込」をファイル数分チェックしてください。

- ✦ 整合性チェックが正常であることを確認し、[次へ（仕訳読込開始）]を押下します。

- 「仕訳の完成度」がOKになったことを確認し、[確認終了]を押下します。

仕訳の完成度	月日	伝番	税	税率	借方	コード	貸方	コード	元帳摘要	取引金額
OK	6.30	10 0			電子記録債権	1124	売掛金	1122	売掛金入金 電	1,000,000

通知ファイルの債権情報

取引金額合計 1,000,000

全データ: 1件 (正常なデータ: 1件 エラーとなったデータ: 0件)

仕訳の完成度を参考にして、ファイル内の仕訳を編集、削除してください。

[前頁] [次頁] [確認終了] [証憑番号] [事業区分] [取引先名] [消費税等]



エラーが表示されている場合、表示されるエラー内容を確認してください。  
また、「**2 連携事前設定**」の設定が正しく行われているか確認してください。

### 3.1.5 仕訳伝票を確認する

「3.1.3 仕訳伝票を作成する（FX2の場合）」もしくは「3.1.4 仕訳伝票を作成する（FX4クラウドの場合）」で作成した仕訳伝票を確認します。

「FX シリーズ」を開き、[日常業務]>[仕訳帳]を押下します。

FX2 業務の選択

F4/FM(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(E) 最新業績(G) 自社情報(I) サ-ル(I) リ-ポ-ト(W) ヘルプ(H)

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

日常業務 支払・入金・資金繰り 月次・年次業務 最新業績 自社情報 制度会計 銀行報告用

A 取引の入力 C 取引問合せ

1 仕訳辞書 8 TKCシステム自動仕訳の読込 41 仕訳帳 51 課税区分別取引

2 会計日記帳 9 他社システム自動仕訳の読込 42 総勘定元帳 52 勘定科目別消費税額

3 預金出納帳 10 IB/FBからの仕訳読込 43 部門別取引 53 部門別課税区分別取引

4 伝票(1伝票型) 11 入力データ検索 44 勘定科目残高 54 手形明細

5 伝票(5伝票型) 12 入力モニター 45 勘定科目残高推移表 55 電子記録債権

6 複合仕訳 46 部門別科目残高 56 訂正・加除履歴

7 S×2入金・支払仕訳 13 入力制御情報 47 部門別科目残高推移表

48 日々の現預金残高

49 日々の売上総額

50 日々の仕入総額

B 報告書の印刷 D データのバックアップ

21 現預金出納帳 26 科目残高推移表 99 データのバックアップ

22 仕訳帳 27 部門別科目残高一覧表

23 総勘定元帳 28 部門別科目残高推移表

24 現預金残高報告書 29 未決済手形一覧表

25 科目残高一覧表 30 未決済電子記録債権一覧

♥番号で選択してください。

F9 タブ切替 F1 日付変更 F10 終了

✚ 該当の仕訳伝票を選択し、ダブルクリックもしくは[Enter]を押下します。

仕訳帳

FX2 株式会社NTTデータフロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

平成 26年 3月 1日 ~ 平成 26年 4月 30日

\*は月次決算完了 [月日順:昇順]

月日	伝番	税	税率	借方科目	貸方科目	取引先名	元帳摘要	取引金額
4.30	532	0		買掛金	支払手形		手形振出 約束手形	109,935
4.30	533	0		買掛金	普通預金		買掛金支払 預金振込	642,040
4.30	534	5	8.0%A	管理諸費	普通預金		当方負担振込手数料	630
4.30	535	5	8.0%A	雑費	普通預金		清掃代	150,000
4.30	538	0		支払手形	普通預金		支払手形決済	541,013
4.30	539	0		減価償却費	減価償却累計額		償却費計上 当月概算計	780,019
4.30	540	0		減価償却費	減価償却累計額		償却費計上 当月概算計	222,288
4.30	541	0		1年以内返済長	普通預金		借入金返済 1年以内返	400,000
4.30	542	8		支払利息	普通預金		預金支払 短期借入金	49,000
4.30	543	0		1年以内返済長	普通預金		借入金返済 1年以内返	400,000
4.30	544	8		支払利息	普通預金		預金支払 短期借入金	39,000
4.30	545	0		1年以内返済長	普通預金		借入金返済 1年以内返	100,000
4.30	546	8		支払利息	普通預金		預金支払 短期借入金	10,000
4.30	547	0		1年以内返済長	普通預金		借入金返済 1年以内返	95,000
4.30	548	8		支払利息	普通預金		預金支払 短期借入金	12,000
4.30	549	0		普通預金	売掛金		預金入金 売掛金回収	1,535,102
4.30	550	0		普通預金	売掛金		預金入金 売掛金回収	785,425
4.30	551	0		買掛金	普通預金		買掛金支払 材料仕入高	556,124
4.30	552	0		買掛金	普通預金		買掛金支払 材料仕入高	541,287
4.30	553	0		電子記録債権	売掛金		売掛金入金 電子記録債	1,000,000
4.30	554	0		電子記録債権	売掛金	取引先A株式会社	売掛金入金 電子記録債	1,000,000

内容を確認する行をダブルクリックまたはエンター・キーで選択してください。

F1 入力順 F2 前頁 F3 次頁 F5 証憑番号 F6 事業区分 F7 仕入れ日 F8 消費税等 F10 ヘルプメニュー

- 仕訳伝票の内容を確認し、問題がある場合は本画面より修正を行います。  
(仕訳帳画面での修正方法については「FX シリーズ」の操作説明をご参照ください。)

FX2 仕訳帳

ファイル(E) 取引入力(A) 報告書(B) 取引問合せ(C) 資金繰り(D) 月次・年次(E) 最新業績(G) 自社情報(I) 表示(V) 印刷(W)

FX2 株式会社 N T T データ フロンティア 本日：平成26年 4月30日(水)

他社システム 月次決算未了 入力担当者

伝(負)番	証憑書番号	課 税 区 分	事業区分	小切手番号	年 月 日
554		0 不課税取引		#	26 4 30
借 方 科 目 ・ □ 座 名		貸 方 科 目 ・ □ 座 名		取 引 金 額	
1124	電子記録債権	1122	売掛金		1,000,000
取引先名 (仕入先の氏名又は名称)				収	(内、消費税等)
取引先A 株式会社				020001 支	
摘	実際の仕入れ年月日	元 帳 摘 要 (仕入れ資産等の総称)		税 率	税 抜 き 金 額
		売掛金入金 電子記録債権			
部 門 名					内 訳 金 額
差 額					

R-No. 48408/271022 自動仕訳番号[EX ]

♥ ファンクション・キーで選択してください。

F2 前仕訳 F3 次仕訳 F4 確認終了 F5 訂正 F6 削除 F10 ヘルプメニュー



---

## 一括請求 Assist<sup>®</sup> Ver.2 操作マニュアル

# 連携編(FX シリーズ)

---

2023 年 1 月 4 日 第 2.6 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
  - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
  - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-